

AKAI
PROFESSIONAL




EWI5000

ユーザガイド

Manual Version JP-1.3

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://ewi.akai-pro.jp/>

AKAI
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

inMusic Japan株式会社

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

<http://ewi.akai-pro.jp/support/>

目次

はじめに	5
EWI5000 について	
サポート	
ご使用前に	5
重要事項	
1. EWI5000 の電源を入れる	
2. EWI5000 の正しい構え方	
3. 接続方法	
4. さあ、演奏してみましょう!	
特徴的な機能	9
上級者向けの機能	11
サウンド・パラメータの調節	11
センサの調節	12
ノート・ディレイ (ノート・キー)	
プレス・センサ	
バイト・センサ	
ピッチベンド・プレート	
グライド・プレート	
センサのキャリブレーション	18
キー・ディレイ (ノート・キー) とプログラム・ボタン	
プレス・センサ	
グライド・プレート	
ピッチベンド・プレート	
コントロールの割り当て	21
MIDI チャンネル	
ホールド・ボタン	
インターバル・ボタン	
プログラムの管理	23
プログラムの選択	
プログラム・ボタンの使い方	
ホールド・ボタンまたはインターバル・ボタンの使い方	
ノート・キーの使い方	
外部 MIDI モジュールまたはソフトウェア上での管理法	
プログラムの保存	

エフェクト (FX) の使い方	-----	26
リバーブ		
コーラス		
ディレイ		
運指モード	-----	28
初期設定の回復	-----	28
ファームウェアのアップデート	-----	29
付録	-----	30
運指一覧	-----	30
EWI 式		
サクソフォン式		
フルート式		
オーボエ式		
EVI 式		
逆 EVI 式		
メニュー構造	-----	36
セットアップ・モード		
FX (エフェクト)		
仕様	-----	40
商標およびライセンス	-----	40

はじめに

EWI5000について

EWI シリーズの最新モデルとなる **EWI5000** は、革新的な楽器デザインとワイヤレス接続機能、そして SONiVOX によるサウンド・ライブラリを組み合わせた、今日のミュージシャンが入手できるものの中でも、もっとも多彩な管楽器です。Akai Professional では、この EWI5000 を開発するにあたって、オリジナルのエレクトリック・ウィンド・インストゥルメント (EWI) の技術を受け継ぎ、同じ目的——世界中の管楽器奏者に、それまでにはできなかった音楽表現を可能にすること——を掲げました。現代の奏者のために作られたこの楽器で、次世代の演奏技術を体験してください。

サポート

製品についての最新情報（動作環境や互換性に関する情報など）のご確認や製品のご登録は、ウェブサイト <http://ewi.akai-pro.jp/ewi5000/> で行ってください。

その他の製品サポートについては、<http://ewi.akai-pro.jp/support/> を参照してください。

ご使用の前に

重要事項

EWI5000 をお使いになる前に、以下の点に注意してください。

- **マウスピースを必要以上に強く噛まないでください。**ピプラート・センサが壊れる恐れがあります。EWI5000 をご使用の後や持ち運ぶ際には、マウスピースにカバーを付けてください。
- **演奏する時には、常にグラウンディング・プレートとオクターブ・ローラに触れていてください。**これらのセンサは、演奏者の体をグラウンドに利用しています。
- **EWI5000 の使用前にも使用中、使用後にも、マウスピースを清潔に保ってください。**マウスピースの表面は、消毒用のアルコールで清掃できます。

1. EWI5000の電源を入れる

EWI5000 は充電電池の電源で動作します。ご使用にあたっては、以下の点に注意してください。

- **バッテリーの装着：**標準的なプラス・ドライバ（付属していません）を使って、EWI5000 の PHONES 出力ジャックの下にあるバッテリー・コンパートメントのカバーを外し、バッテリーを装着して、再びカバーを閉じて固定します。
- **充電：**同梱の USB ケーブルで、EWI5000 の USB ポートと **(A)** 電源に接続した同梱の USB 電源アダプタ、または **(B)** お手持ちのコンピュータ（電源の入った状態）の USB ポートを接続します。EWI5000 の使用中もバッテリーの充電は可能です。充電中は、EWI5000 のディスプレイのドットが点滅します。
- **バッテリー残量：**バッテリー残量は、**Level** ボタンを押しながら **FX** ボタンを押すと、ディスプレイに (00 ~ 99 の数字で) 表示されます。
- **バッテリー警告：**バッテリーの残量が少なくなると、**PRESET** または **USER** の LED が点滅して、バッテリーの充電を促します。
- **オート・パワー・オフ：**EWI5000 を全く操作しない状態が **10 分** ほど続くと、自動的に電源がオフになります。とはいえ、EWI5000 のバッテリー残量を確保するために、基本的には使用しない時に電源をオフにするようにしてください。

2. EWI5000の正しい構え方

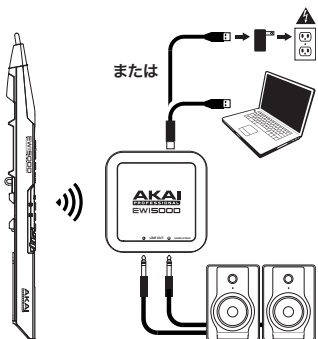
1. ネック・ストラップを EWI5000 のネック・ストラップ穴にきちんと装着します。
2. ストラップを首にかけ、サクソフォンやクラリネットと同じように、EWI5000 を体の前で垂直に構えます。
3. 演奏する時には、左手の親指を本体裏側のオクターブ・ローラに、右手の親指をピッチベンド・プレートの間にあるグラウンディング・プレートにそれぞれあてます。これによって、キー・タッチの検知と演奏性が最良の状態になります。



3. 接続方法

重要:以下の接続方法は、互いに併用できないわけではありません。EWI5000 は、**LINE** 出力と **PHONES** 出力、レシーバ(ペアリングが確立している場合)の全てに対して同時にオーディオ信号を送ることができます。ですから、たとえば EWI5000 のオーディオ信号をワイヤレスで送信しながら、ヘッドフォンで自分の演奏を聴くこともできます。

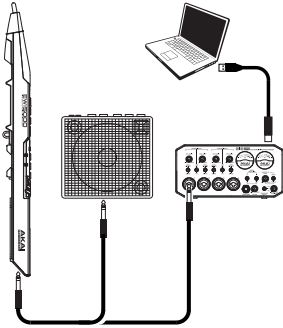
ただし、EWI5000 をコンピュータに接続し、MIDI コントローラとして使用する(本項の 4 番目の使い方)の場合、本体からは MIDI メッセージが送信されるだけで、オーディオ信号はどこからも出力されません。しかし、この場合でも **POWER** ボタンを長押しして、**PRESET** または **USER** の LED の点灯(オーディオ信号が出力されます)と点滅(オーディオ信号は出力されません)を切り替えることができます。



EWI5000 のオーディオ信号をワイヤレスで送信する場合：

1. 同梱の USB ケーブルで、ワイヤレス受信機とコンピュータ(電源の入った状態)を接続します。あるいは、ワイヤレス受信機と付属の USB 電源アダプタを接続し、アダプタを電源コンセントに接続します。この状態で、レシーバの **PAIR LED** が点滅します。
2. EWI5000 の **POWER** ボタンを押して電源をオンにします。すると、**BANK** ボタンの隣にある **PRESET LED** が点滅します。
3. EWI5000 の **WIRELESS** スイッチを**オン**にすると、自動的にワイヤレス受信機とのペアリングが確立します。ペアリングが確立すると、受信機の **PAIR LED** と EWI5000 の **PRESET LED** または **USER LED** が点灯します。これで、ワイヤレス受信機が EWI5000 のオーディオ信号をコンピュータに出力できる状態になります(ワイヤレス受信機の Line 出力ジャックからは、コンピュータが出力したオーディオ信号は取り出せません)。

参考: EWI5000 と受信機のペアリングをマニュアルで行うことができます。受信機のPAIR LEDが点滅している状態で、更に受信機のPAIRボタンを1回押します。PAIR LEDが2回ずつの速い点滅パターンに変わります。EWI5000のWIRELESSスイッチをオンにし、EWI5000のPOWERボタンを一回押してください。受信機のPAIR LEDが点灯しペアリングが確立します。



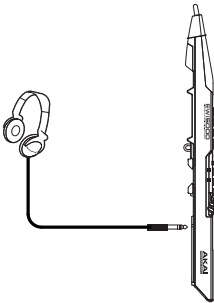
または

EWI5000 のオーディオ信号を外部アンプやオーディオ・インターフェイスから出力する場合：

- 1/4 インチ (6.35mm) 標準プラグ付きのケーブルで、EWI5000 の **LINE** 出力ジャックと、キーボード・アンプやオーディオ・インターフェイスなどのライン・レベル入力ジャックを接続します。

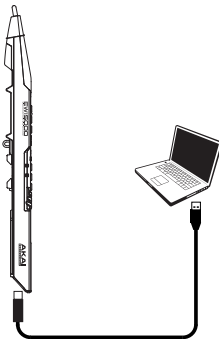
重要： **LINE** 出力ジャックはステレオです。機器のモノラル入力ジャック (多くのキーボード・アンプやオーディオ・インターフェイスなどの入力はモノラルです) に接続する場合には、TRS (ステレオ) ではなく、TS (モノラル) の標準プラグ付きのケーブルを使用してください。

- EWI5000 の **POWER** ボタンを押して電源をオンにします。
- EWI5000 の **WIRELESS** スイッチを**オフ**にします。



EWI5000 のオーディオ信号をヘッドフォンで聴く場合：

- 1/8 インチ (3.5mm) プラグの付いたステレオ・ヘッドフォンのケーブルを、EWI5000 の **Phones** 出力ジャックに接続します。
- EWI5000 の **POWER** ボタンを押して電源をオンにします。
- EWI5000 の **WIRELESS** スイッチを**オフ**にします。



EWI5000 を「ワイヤードの」MIDI コントローラとして使用する場合：

- EWI5000 の電源が**オフ**になっていることを確認します。オフになっていなければ、**POWER** ボタンを 1 秒間押し続けて、電源を**オフ**にします。
- 同梱の USB ケーブルで、EWI5000 の USB ポートをコンピュータに接続します。
- EWI5000 の **WIRELESS** スイッチが**オフ**になっていることを確認してください。

重要： このモードの初期設定では、EWI5000 からはオーディオ信号が全く出力されない状態になっています。オーディオ信号を出力させるかどうかは、**POWER** ボタンを長押しして、**PRESET LED** または **USER LED** を点灯させる (オーディオ信号が出力されます) か、点滅させるか (オーディオ信号は出力されません) を切り替えることで選択できます。

4. さあ演奏してみましょう！

上下の唇と歯でマウスピースを軽くくわえて、口の両側から息が漏れるようにして吹きます。EWI5000 はプレス・センサでその風圧を感知して、吹く強さに応じて音量や音質を変化させます（あまり強く吹かなくても、楽器は反応します）。

ヒント：

- マウスピースには、バイト・センサも内蔵されています。マウスピースを軽く噛むと、噛む度に少しピッチが高くなるので、音にビブラートもかけられます。ただし、あまり強くは噛まないでください。
- タンギングしながらマウスピースを吹くと、より表現力豊かなコントロールが可能になります。
- EWI5000 のノート・キーやオクターブ・ローラ、ピッチバンド・プレート、グライド・プレートの反応が良くない場合には、あなたの手が乾燥しているのが原因かもしれません（EWI5000 は、人体の静電容量を利用していません）。このような場合には、油分を含まないハンド・ローションなどで手を潤すと、手とキーの電通が改善されます。

ノート・キー：ノート・キーは、軽く触れるだけで音が出ます。EWI5000 では、サクソフォン奏者向けやフルート奏者向けなど、複数の運指が選択できます。最低音の3つのキーは、固定ネジを緩めることで位置を微調節できます。

ノート・キーの反応を調節する方法については、**上級者向けの機能 > センサの調節 > ノート・ディレイ（ノート・キー）**の項を参照してください。

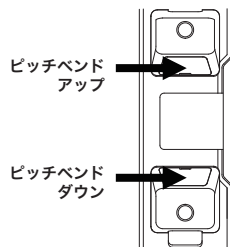
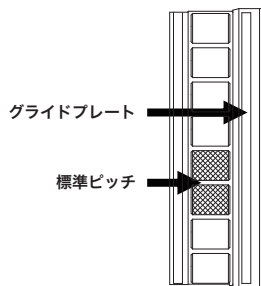
オクターブ・ローラ：左手の親指を、EWI5000 の裏パネルにある、隣り合った2つのオクターブ・ローラにあてます（グライド・プレートには触れません）。オクターブ・ローラを転がすようにして親指を上下にスライドさせると、オクターブの上下ができます。演奏中には、左手の親指をオクターブ・ローラから離さないようにしてください。ギザギザの付いた2つのオクターブ・ローラの間が、標準ピッチの位置になります。

グライド・プレート：音を鳴らしながら、オクターブ・ローラを転がさないようにしてその右側にあるグライド・プレートに触れた親指を動かすと、“グライド”効果が得られます。これによって、ピッチを滑らかに上下させる——ポルタメントと呼ばれるテクニックです——ことができます。

グライド・プレートの感度を調節する方法については、**上級者向けの機能 > センサの調節 > グライド・プレート**の項を参照してください。

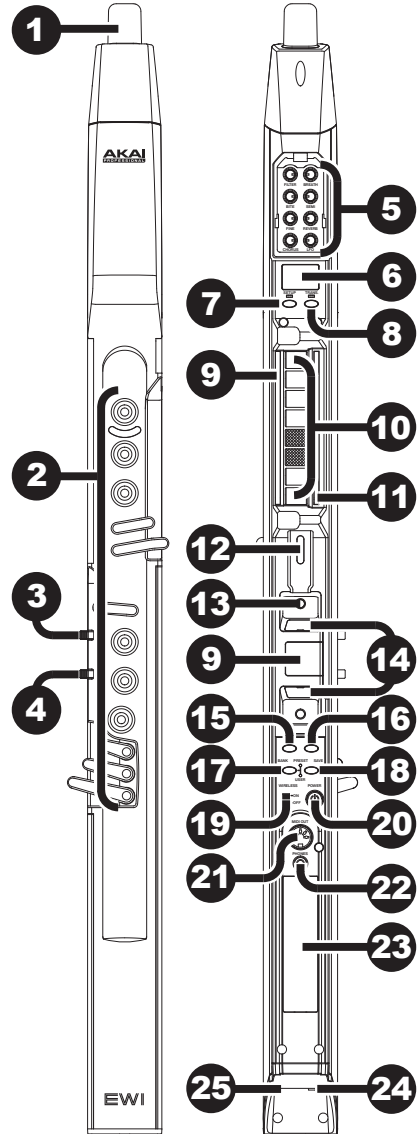
ピッチバンド・プレート：親指でこれらのプレートのいずれかに触れると、鳴らしている音のピッチを上または下にバンドすることができます。上のプレートに触れるとピッチは上に、下のプレートに触れれば下にバンドします。これらのプレートの扱いに慣れないうちは、うっかり触れて意図せずにピッチをバンドさせてしまうかもしれません。それぞれのプレートの位置は、固定ネジを緩めることで調節できます。

ピッチバンド・プレートの感度を調節する方法については、**上級者向けの機能 > センサの調節 > ピッチバンド・プレート**の項を参照してください。



特徴的な機能：

1. **マウスピース**：唇と歯で軽くくわえて、（従来の管楽器と同じような感覚で）息を吹き込みます。息を吹き込みながらマウスピースを軽く噛んで、ピラートをかけることもできます。ただし、あまり強く噛まないでください。
2. **ノート・キー**：マウスピースを吹きながら、これらのキーを様々な組み合わせで触れることで、音程が決まります。最低音の3つのキーの位置は、固定ネジを緩めることで微調節できます。
3. **ホールド・ボタン**：このボタンを押すとホールド・モードに入ります。初期状態では、ホールド・モードが**レガート (LE)** に設定されており、フレーズの最初の音を鳴らし続けながら、他の音を演奏することができます。
セットアップ・モードでは、このボタンは値や設定を1段階上げる**アップ・ボタン**として機能します。
4. **インターバル・ボタン**：このボタンを押すとインターバル・モードに入ります。初期状態では、**フィクスト・インターバル (Fd)** に設定されており、ある音を鳴らすと、それに対してあらかじめ設定された音程差（初期設定では1オクターブ下）の音が鳴ります。
セットアップ・モードでは、このボタンは値や設定を1段階下げる**ダウン・ボタン**として機能します。
5. **パラメータ・ノブ**：これら8個のノブで、プログラムやEWI5000本体の基本的な音質が調節できます。
6. **ディスプレイ**：プログラム・ナンバまたは設定値が表示されます。
7. **セットアップ (SETUP) ・ボタン**：このボタンを押すと、セットアップ・モードに入ります。セットアップ・モードに入ると、このボタンのLEDが点灯します。
セットアップ・モードに入った状態では、このボタンでメニューやサブメニューの“上”の階層に移動します。
8. **トランスポーズ (TRANS.) ボタン**：このボタンを押すと、トランスポーズ機能のオンとオフが切り替えられます。オンの時にはこのボタンのLEDが点灯します。トランスポーズの値は、このボタンを押しながら**ホールド・ボタン**を押せば増加し、同じく**インターバル・ボタン**を押せば減少します。
パラメータ・ノブの補助機能を利用する場合は、このボタンを押したままの状態にしてからノブを回します。
セットアップ・モードでは、このボタンを押してサブメニューに入ります。



9. **グラウンディング・プレート**：演奏中は、常にこのプレートに触れているようにしてください。
10. **オクターブ・ローラ**：これらのローラを転がすようにして親指を上下させると、キーに触れて出した音のオクターブ・レンジが変わります。変化幅は 4 オクターブ上まで、または 2 オクターブ下までの範囲です。演奏中は、常にローラに触れているようにしてください。
11. **グライド・プレート**：音を鳴らしながらこのプレートに触れると、ピッチを連続的に上下させる「グライド」効果——ポルタメントと呼ばれる表現テクニック——が得られます。
12. **ネック・ストラップ・クリップ**：同梱のネック・ストラップをここに装着します。
13. **プログラム・ボタン**：どのノート・キーにも触れずに、このネジだけに触れると、現在使用中の（内蔵音源の）プログラム・ナンバがディスプレイに表示されます。この状態で**ホールド・ボタン**を押せば次のプログラム、**インターバル・ボタン**を押せば前のプログラムがそれぞれ呼び出せます。
14. **ピッチベンド・プレート**：音を鳴らしながらこれらのうち上下いずれかのプレートに触れると、ピッチをそれぞれ上または下にベンドさせることができます。プレートの位置は、固定ネジを緩めることで微調節できます。
15. **エフェクト (FX) ・ボタン**：このボタンを押したまま**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使って、**リバーブ (rb)**、**コーラス (ch)** または**ディレイ (dL)** を選択します。選択してから **FX** ボタンを離し、エフェクトの音量を**ホールド・ボタン**で増やしたり、**インターバル・ボタン**で減らしたりできます。
16. **レベル (LEVEL) ・ボタン**：このボタンを押すと、MAIN 出力の音量レベルがディスプレイに表示されます。音量レベルは**ホールド・ボタン**を押して増やしたり、**インターバル・ボタン**を押して減らしたりできます。
17. **バンク (BANK) ・ボタン**：このボタンを押して、プリセット・プログラムのバンクとユーザー・プログラムのバンクを切り替えます。プリセットとユーザーのどちらのバンクが選択されているかは、**PRESET** または**USER** の LED が点灯して示します。
18. **セーブ (SAVE) ・ボタン**：このボタンを押して、セーブ（保存）・モードに入ります。ディスプレイでは、プログラムの保存先となるユーザー・プログラム・ナンバが点滅します。**ホールド**および**インターバル・ボタン**を使って、保存先のユーザー・プログラム・ナンバを選択してから、ふたたび **SAVE** ボタンを押すと、プログラムが保存されます。この時、SAVE 以外のいずれかのボタンを押すと、操作がキャンセルできます。
19. **ワイヤレス (WIRELESS) ・スイッチ**：EWI5000 をワイヤレス受信機とペアリングするかしないかを選択します。ペアリングするには、ワイヤレス受信機とコンピュータの USB ポートに接続します（あるいは、受信機を同梱の USB 電源アダプタに接続し、アダプタを電源コンセントに接続します）。すると、受信機の **PAIR LED** が点滅します。EWI5000 の電源をオンにして、この **WIRELESS** スイッチを**オン**にすると、ワイヤレス受信機と自動的にペアリングが確立します。ワイヤレス受信機とペアリングが確立すると、受信機の **PAIR LED** と EWI5000 の **PRESET** または **USER** の LED（**BANK** ボタンの隣）がそれぞれ点灯します。
参考：EWI5000 と受信機のペアリングをマニュアルで行うことができます。
手順については**P6**をご参照ください。
20. **パワー (POWER) ・ボタン**：このボタンを 1 秒間長押しすると、EWI5000 の電源がオンまたはオフになります。
21. **MIDI 出力 (MIDI OUT) ポート**：標準の 5 ピン MIDI ケーブルで、このポートと外部 MIDI 音源の MIDI 入力ポートを接続すると、EWI5000 をその MIDI 音源のコントローラとして使用できます。
22. **PHONES 出力ジャック**：ヘッドフォン（別売）のステレオ 1/8 インチ（3.5mm）プラグ付きケーブルを、このジャックに接続します。
23. **バッテリー・コンパートメント**：標準的なプラス・ドライブ（同梱されていません）でバッテリー・コンパートメントのカバーのネジを外し、バッテリーを装着して、カバーをふたたびネジ留めます。
24. **LINE 出力ジャック**：1/4 インチ（6.35mm）の TRS 標準プラグ付きのケーブルで、このジャックとキーボード・アンブやオーディオ・インターフェイス、スピーカ・システムなどの入力端子を接続します。
重要：この **LINE** 出力ジャックはステレオです。機器のモノラル入力ジャック（多くのキーボード・アンブやオーディオ・インターフェイスなどの入力にはモノラルです）に接続する場合には、TRS（ステレオ）ではなく、TS（モノラル）の標準プラグ付きのケーブルを使用してください。
25. **USB ポート**：標準的な USB ケーブルで、このポートとコンピュータの空いている USB ポートを接続します。この接続によって、EWI5000 に電源が供給され、コンピュータに MIDI メッセージを送信しながら、バッテリーの充電も行うことができます。

上級者向けの機能

EWI5000 は、音源とエフェクタを内蔵した管楽器スタイルの MIDI コントローラです。生楽器と同様のアーティキュレーションを付けた演奏ができるばかりでなく、様々なサウンドやトーンのコントロールが可能な電子楽器でもあります。

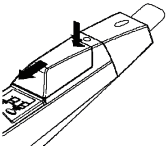
EWI5000 には、**パフォーマンス・モード**と**セットアップ・モード**の 2 つのモードがあります。EWI5000 の電源を入れた状態ではパフォーマンス・モードになっているので、センサの感度や MIDI 設定などを調節するセットアップ・モードに入るには、**SETUP** ボタンを押します。パフォーマンス・モードに戻るには、**SETUP** ボタンを押して、ディスプレイに何も表示されない状態にします。

EWI5000 は、他の生楽器によく似た楽器ですから、練習を積めば積むほど上手く演奏できるようになります。最初は難しいと感じるかもしれませんが、自分の演奏スタイルが出来上がっていくにつれて、無限の可能性が開けていくのがおわかりになるでしょう。はっきりと決まったルールは無いのです。

セットアップ・モード全体のメニュー構造については、**付録 > メニュー構造 > セットアップ・モード**の項を参照してください。

サウンド・パラメータの調節

重要：サウンド・パラメータ・ノブは、パフォーマンス・モードかセット・アップ・モードかに関わらず、いつでも調節できます。

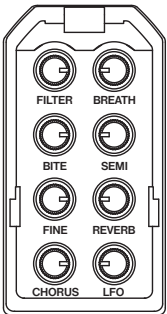


EWI5000 のサウンドは、**(1)** 同梱のサウンド・エディタ・ソフトウェアまたは **(2)** EWI5000 に付いている 8 つのパラメータ・ノブ（ディスプレイの上のカバーを外すと、ノブが操作できます）で調節できます。

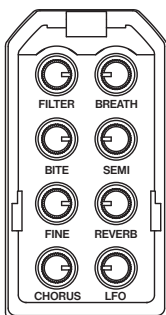
8 つのパラメータ・ノブは、以下の解説のように、プログラムや EWI5000 自体のサウンドの基本的なキャラクタを調節するものです。

FINE を除く全てのパラメータ・ノブには、副機能が割り当てられています：

- ・主機能を使用する場合は、そのままノブを回します。
- ・副機能を使用する場合は、**トランス・ボタン**を押しながらノブを回します。



- | | |
|---------------|--|
| FILTER | 主：プログラムのフィルタ・カットオフ周波数を調整します。
副：プログラムのフィルタ・レゾナンスを調整します。 |
| BREATH | 主：EWI5000 のプレス・センサのオフセット（どのくらいの息量で音が鳴り始めるか）を調整します。
副：EWI5000 のプレス・センサのゲイン（演奏の強弱：この値が高いと、ダイナミクスレンジは減少します）を調整します。 |
| BITE | 主：EWI5000 のバイト・センサの感度（どのくらい噛むとサウンドに効果が出るか）を調整します。
副：プログラムのディレイ・エフェクトのかかり具合を調整します。 |
| SEMI | 主：EWI5000 のチューニング（半音ずつ）を調整します。
副：プログラムのディレイ・エフェクトのディレイ・タイムを調整します。 |



- | | |
|---------------|---|
| FINE | 主：EWI5000 のチューニング（微調整）を行います。
副：割り当てなし |
| REVERB | 主：プログラムのリバーブ・エフェクトのかかり具合を調整します。
副：プログラムのリバーブ・エフェクトのルーム・サイズを調整します。 |
| CHORUS | 主：プログラムのコーラス・エフェクトのかかり具合を調整します。
副：プログラムのコーラス・エフェクトのデプスを調整します。 |
| LFO | 主：プログラムのモジュレーション（ CC#1 ）のかかり具合を調整します。
副：プログラムのモジュレーションの LFO の周波数を調整します。 |

これらのノブを調節した結果をプログラムに保存する場合は、**SAVE** ボタンを押します。

重要：保存する際には、呼び出されているプログラムに対する設定のみが保存されます。EWI5000 本体に対する設定は、EWI5000 のハードウェアの感度やチューニングに影響するので、全てのプログラムに影響します。

ヒント：サウンドを細かくカスタマイズする場合は、EWI5000 用のサウンド・エディタ・ソフトウェアでさらに多くのプログラム・パラメータを調節し、これらのパラメータ・ノブの追加機能は EWI5000 のセンサの調節に使用してください。最新の EWI5000 サウンド・エディタのダウンロードと詳細な情報については、ウェブサイト <http://ewi.akai-pro.jp/ewi5000/> を参照してください。

センサの調節

EWI5000 は最適な状態になるように初期設定されていますが、あなたの演奏を最大限に活かすために、お好みに合わせて調節することをお勧めします。設定はセットアップ・モードで行います。

セットアップ・モードに入るには、**SETUP** ボタンを押します。ディスプレイに現在の設定が表示されます。

調節は複雑なように思えるかもしれませんが、演奏する度に調整が必要なものではありません。設定した値は EWI5000 が機能するために重要なもので、設定値があなたの演奏スタイルに見合っていれば、あなたの演奏はよりいっそう表現力豊かに、より正確に再現されるようになります。いちどお好みに合った設定ができてしまえば、それ以上の設定作業は必要ないでしょう。

調節できるセンサは、以下の通りです。センサ名をクリックすると、該当する項にスキップします。

ノート・ディレイ（ノート・キー）
プレス・センサ
バイト・センサ

ピッチベンド・プレート
グライド・プレート

また、**センサのキャリブレーション**の章もお読みになるようお勧めします。センサをキャリブレーションすることで、センサの感度や反応があなたの演奏スタイルに最適な状態になります。

セットアップ・モード全体のメニュー構造については、**付録 > メニュー構造 > セットアップ・モード**の項を参照してください。

ノート・ディレイ(ノート・キー)

ノート・ディレイ機能では、ノート・キーの反応を調節します。EWI5000 のノート・キーの反応は、素早い運指の変化に対応するようにプリセットされていますが、演奏スタイルによっては、意図しない音が出てしまう可能性があります。そういった場合には、このノート・ディレイを調節することで、より滑らかに演奏できるようになるかもしれません。

ノート・ディレイの調節のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。(階層によっては数回押す必要があります。)
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **dL (ノート・ディレイ)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、ノート・ディレイの現在の値がディスプレイに表示されます。
4. **ホールド・ボタン** (値を増やす場合) または **インターバル・ボタン** (値を減らす場合) を押して、好みの値に設定します。
ヒント：ノート・ディレイの値を大きくすると、より滑らかな演奏ができますが、速い運指に対する反応は遅くなるかもしれません。設定値は、なるべく小さな値にしておくのが良いでしょう。
5. **SETUP** ボタンを押して、パフォーマンス・モードに入ります。

ヒント：**プログラム・ボタン**に触れている時に、ノート・キーで特定のプログラムを呼び出せるように、プログラムをノート・キーに割り当てることができます。これによって、プログラムが素早く簡単に選択できます。詳しくは、**プログラムの管理 > プログラムの選択 > ノート・キーの使い方の**項を参照してください。

ブレス・センサ

マウスピースのブレス・センサは、息の強さを鳴らしている音の音量や音色に変換します。ですから、このセンサの感度をあなたの演奏スタイルに合わせて設定することが大切です。

ヒント：EWI5000 を初めて使う場合には、楽に吹けるように、ブレス・センサが「軽く」動作するように設定するのが良いかもしれません。練習を積んでいけば、動作が「重く」なるように設定して、より表現力豊かな演奏ができるようになります。

ブレス・センサの調節のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。(階層によっては数回押す必要があります。)
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **bS (ブレス・センサ)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **vo (ボリューム)**：ブレス・センサが MIDI コントロールの **CC#7** およびを使用したメッセージを送信します。どちらもチャンネル・ボリューム情報です。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押し続けると、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **OF (オフ)**：**CC#7**と **CC#39** のどちらのメッセージも送信されなくなります。
 - **Lr (ロー・レゾリューション)**：**CC#7** のみのメッセージが送信されます。
 - **Hr (ハイ・レゾリューション)**：**CC#7** と **CC#39** の両方を使用したメッセージが送信されます(この場合、ペロシティがロックされていないければ、ノート・オン・メッセージの直前に **CC#88** のメッセージも送信されます)。
 - **EP (エクスプレッション)**：ブレス・センサが **CC#11** と **CC#43** を使用したメッセージを送信します。どちらもエクスプレッション情報です。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押し続けると、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **OF (オフ)**：**CC#11** と **CC#43** のどちらのメッセージも送信されなくなります。
 - **Lr (ロー・レゾリューション)**：**CC#11** のみのメッセージが送信されます。
 - **Hr (ハイ・レゾリューション)**：**CC#11** と **CC#43** の両方を使用したメッセージが送信されます(この場合、ペロシティがロックされていないければ、ノート・オン・メッセージの直前に、**CC#88** のメッセージも送信されます)。

- **PP (アフタータッチ)**：ブレス・センサがアフタータッチ（ポリフォニック・ブレッシャ）のメッセージを送信します。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押すと、アフタータッチのオン / オフが切り替えられます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **CP (チャンネル・ブレッシャ)**：ブレス・センサがチャンネル・ブレッシャのメッセージを送信します。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押すと、アフタータッチのオン / オフが切り替えられます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **br (ブレス)**：ブレス・センサが **CC#2** と **CC#34** を使用したメッセージを送信します。どちらもブレス情報です。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押し続けると、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **OF (オフ)**：**CC#2** と **CC#34** のどちらのメッセージも送信されなくなります。
 - **Lr (ロー・レゾリューション)**：**CC#2** のみのメッセージが送信されます。
 - **Hr (ハイ・レゾリューション)**：**CC#2** および **CC#34** の両方を使用したメッセージが送信されます（この場合、ペロシティがロックされていなければ、ノート・オン・メッセージの直前に、**CC#88** のメッセージも送信されます）。
 - **CC (コンティニュース・コントロール)**：ブレス・センサは MIDI コンティニュース・コントロール (CC) のメッセージを送信します。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押すと、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **En (イネーブル)**：CC メッセージの出力のオン / オフを選択します。このパラメータを選択したら、**TRANS** ボタンを押しながら**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、オン (**On**) とオフ (**OF**) を切り替えます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **Cn (コントローラ・ナンバ)**：マウスピースを吹いた時に送信される CC メッセージを設定します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00** ~ の範囲。**99** よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。コントロールしたいパラメータに合った値を選んでください。
重要：**CC#7** (ボリューム) を調節している時に EW15000 の出力をうっかりミュートしてしまわないために、このパラメータを調節する前に **En** をオフ (**OF**) にしておくとういでしょう。
 - **nb (ノー・ブレス)**：マウスピースを吹いていない時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00** ~ **127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **br (ブレス)**：マウスピースを吹いた時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00** ~ **127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **LV (ロック・ペロシティ)**：これをオンにすると、ブレス・センサがペロシティに影響しなくなります。つまり、全てのノート・オン・メッセージは一定のペロシティ値で送信されるようになります。オン / オフは **TRANS** ボタンを押して切り替えます。オンの時には、ディスプレイにドットが表示されます。ペロシティを設定する時には **TRANS** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00** ~ **127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **Ct (キャプチャ・ディレイ)**：マウスピースを吹いた瞬間からノート・オン・メッセージが送信されるまでの遅延時間を設定します。**TRANS** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値 (**01** ~ **10**) を設定します。
 - **CS (コンスタント・アウトプット)**：これをオンにすると、ブレス・センサが固定した値のブレス・メッセージを送信します。値は **BREATH** パラメータ・ノブで調節できます。オン / オフは **TRANS** ボタンを押して切り替えます。オンの時には、ディスプレイにドットが表示されます。
4. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

バイト・センサ

バイト・センサは、音を鳴らしながらマウスピースを噛むことで加える、ビブラート効果の具合をコントロールします。

参考：ビブラート効果は、マウスピースを噛み続けるのではなく、何度も噛むことで得られます。

バイト・センサの調節のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに**bT (バイト・センサ)**と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **FL (フィルタ)**：バイト・センサでハイパス・フィルタがコントロールできます。オンにした場合にも、マウスピースを噛み続けても、音質はやがて元の状態に戻ります。このパラメータのオン / オフは **TRANS** ボタンを押して切り替えます。オンの時には、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **Pb (ピッチベンド)**：マウスピースを噛むと、ピッチをベンドすることができます。オン / オフは **TRANS** ボタンを押して切り替えます。オンの時には、ディスプレイにドットが表示されます。ピッチベンドの深さは、**TRANS** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**で **-63 ~ +63** の範囲の値で設定します (**-9** 以下の値に設定すると、数字の間にドットが点灯します)。マイナスの値はピッチが下がる方向、プラスの値は上がる方向にベンドされることを示します。
 - **bs (プレス・センサ)**：マウスピースを噛むと、プレス・センサの出力が変化ようになります。オン / オフは **TRANS** ボタンを押して切り替えます。オンの時には、ディスプレイにドットが表示されます。変化の深さは、**TRANS** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**で **-99 ~ +99** の範囲で値を設定します (**-9** 以下の値に設定すると、数字の間にドットが点灯します)。マイナスの値は出力が減る方向、プラスの値は増える方向に変化することを示します。
 - **CC (コンティニューアス・コントロール)**：マウスピースを噛むと、MIDI コンティニューアス・コントロール (CC) のメッセージを送信します。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押すと、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **En (イネーブル)**：CC メッセージの出力のオン / オフを選択します。このパラメータを選択したら、**TRANS** ボタンを押しながら**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、オン (**On**) とオフ (**OF**) を切り替えます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **Cn (コントローラ・ナンバ)**：マウスピースを噛んだ時に送信される CC メッセージを設定します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。コントロールしたいパラメータに合った値を選んでください。
重要：CC#7 (ボリューム) を調節している時に EWI5000 の出力をうっかりミュートしてしまわないために、このパラメータを調節する前に **En** をオフ (**OF**) にしておくとうい良いでしょう。
 - **nb (ノート・バイティング)**：マウスピースを噛んでいない時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **bt (バイティング)**：マウスピースを噛んだ時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
4. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

ピッチベンド・プレート

どちらかのピッチベンド・プレートに触れると、EWI5000 は鳴っている音のピッチをベンドします。これによって、より表情豊かな演奏になります。それとは別に、ピッチベンド・プレートで異なる MIDI コンティニューアス・コントロール (CC) のメッセージを送信するような設定も可能です。

重要：ピッチの変化具合は、親指でどのようにしてプレートに触れるかだけでなく、プレートのどのぐらいの範囲が親指に触れるかにも影響されます。最良の効果を得るために、いろいろと実験してみてください。

ピッチベンド・プレートの調整のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。(階層によっては数回押す必要があります。)
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **PU (ピッチベンド・アップ・プレート)** または **Pd (ピッチベンド・ダウン・プレート)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **Pb (ピッチベンド)：**ピッチベンド・プレートに触れると、音のピッチがベンドされます。**TRANS** ボタンを押してオン / オフを切り替えます。オンの時には、ディスプレイにドットが表示されます。ピッチベンドの深さは、**TRANS** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**で **-63 ~ +63** の範囲の値で設定します (-9 以下の値に設定すると、数字の間にドットが点灯します)。マイナスの値はピッチが下がる方向、プラスの値は上がる方向にベンドされることを示します。
 - **CC (コンティニューアス・コントロール)：**ピッチベンド・プレートに触れると、MIDI コンティニューアス・コントロール (CC) のメッセージを送信します。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押すと、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **En (イネーブル)：**CC メッセージの出力のオン / オフを選択します。このパラメータを選択したら、**TRANS** ボタンを押しながら**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、オン (**On**) とオフ (**OF**) を切り替えます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **Cn (コントローラ・ナンバ)：**ピッチベンド・プレートに触れた時に送信されるCCメッセージを設定します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下2桁の数字がドットと共に表示されます)。コント
 - ーlustしたいパラメータに合った値を選んでください。
重要：CC#7 (ボリューム) を調節している時に EWI5000 の出力をうっかりミュートしてしまわないために、このパラメータを調節する前に **En** をオフ (**OF**) にしておくとういでしょう。
 - **dU (データ・アップ)：**ピッチベンド・プレートに触れていない時に送信されるCCメッセージの値を選択します。**TRANS** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下2桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **dP (データ・プレス)：**ピッチベンド・プレートに触れた時に送信されるCCメッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下2桁の数字がドットと共に表示されます)。
4. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

グライド・プレート

EWI5000 のグライド・プレートを使うと、ある音から別な音へ滑らかに移行する「ポルタメント」と呼ばれるグライド効果が得られ、演奏がより表情豊かになります。それとは別に、グライド・プレートで異なるMIDI コントリニユアス・コントローラ (CC) のメッセージを送信するような設定も可能です。

重要：ポルタメントの効果を得るには、**PS** がオンになっていることを確認してください。EWI5000 のシンセでポルタメントをきちんと機能させるには、この設定が必要です。

音源によっては、ポルタメント・メッセージにうまく反応できずに、望ましくない音を発するものもあるかもしれません。そのような場合には、**PS** をオフに設定してください。

グライド・プレートの調整のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **GL (グライド・プレート)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **Pt (ポルタメント・タイム)：**グライド・プレートが **CC#5** を使用したメッセージを送信します。**CC#5** はポルタメント・タイムで、これを選択して **TRANS** ボタンを押すと、さらに以下のパラメータが選択できます。
 - **En (イネーブル)：****CC #5** メッセージの出力のオン/オフを選択します。このパラメータを選択したら、**TRANS** ボタンを押しながら**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、オン (**On**) とオフ (**OF**) を切り替えます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されません。
 - **dU (データ・アップ)：**グライド・プレートに触れていない時に送信される CC メッセージの値を選択します。**TRANS** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下2桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **dP (データ・プレス)：**ピッチバンド・プレートに触れた時に送信される CC メッセージの値を選択します。**TRANS** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下2桁の数字がドットと共に表示されます)。
重要：ポルタメント効果を利用する場合には、**PS** がオンになっていることを確認してください。EWI5000 のシンセでポルタメントをきちんと機能させるには、この設定が必要です。
 - **PS (ポルタメント・スイッチ)：**グライド・プレートが **CC#65** を使用したメッセージを送信します。**TRANS** ボタンを押してオン / オフを切り替えます。オンの時には、ディスプレイにドットが表示されます。
重要：ポルタメント効果を利用する場合には、このパラメータをオンにしてください。EWI5000 のシンセでポルタメントをきちんと機能させるには、この設定が必要です。
 - **Lt (レガート・タイム)：**グライド・プレートが **CC#104** を使用したメッセージを送信します。EWI5000 はこのメッセージをレガート・タイムの設定に利用します。これは、次の音を鳴らした時に前の音が維持される時間です。時間を短く設定すると、音が急激に切り替わり、長く設定するとスラーのような滑らかな変化になります。(ただし、この効果はピッチの変化を伴わないので、ポルタメントとは異なります)。
この機能を選択した場合は、**TRANS** ボタンを押してさらに以下のパラメータの設定ができます：
 - **En (イネーブル)：****CC #104** メッセージの出力のオン/オフを選択します。このパラメータを選択したら、**TRANS** ボタンを押しながら**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、オン (**On**) とオフ (**OF**) を切り替えます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **dU (データ・アップ)：**グライド・プレートに触れていない時に送信される CC メッセージの値を選択します。**TRANS** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (**00 ~ 127** の範囲。**99** よりも大きな値は、下2桁の数字がドットと共に表示されます)。

- **dP (データ・プレス)**：グライド・プレートに触れた時に送信される CC メッセージの値を選択します。TRANS ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **CC (コンティニューアス・コントロール)**：グライド・プレートに触れると、MIDI コンティニューアス・コントロール (CC) のメッセージを送信します。これを選択した場合、TRANS ボタンを押すと、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **En (イネーブル)**：CC メッセージの出力のオン/オフを選択します。このパラメータを選択したら、TRANS ボタンを押しながら**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、オン (On) とオフ (OF) を切り替えます。オンに設定すると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **Cn (コントローラ・ナンバ)**：グライド・プレートに触れた時に送信される CC メッセージを設定します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。コントロールしたいパラメータに合った値を選んでください。
重要：CC#7 (ボリューム) を調節している時に EWI5000 の出力をうっかりミュートしてしまわないために、このパラメータを調節する前に En をオフ (OF) にしておくとう良いでしょう。
 - **dU (データ・アップ)**：ピッチベンド・プレートに触れていない時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **dP (データ・プレス)**：ピッチベンド・プレートに触れた時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
4. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

センサのキャリブレーション

EWI5000 のセンサは、センサの調節の章で説明したように、調節や各パラメータへの割り当てが可能です。キャリブレーションも同時に行っておくことをお勧めします。センサをキャリブレーションすることで、あなたの演奏スタイルに最適な感度や反応が得られます。

キャリブレーションできるセンサは、以下の通りです：

キー・ディレイ (ノート・キー) およびプログラム・ボタン
プレス・センサ
グライド・プレート
ピッチベンド・プレート

重要：グライド・プレートとピッチベンド・プレートは、部分的に連動しています。そのため、両者の関連を確認しながら感度を調節すると良いでしょう。たとえば、グライド・プレートをキャリブレーションしながらそれぞれのピッチベンド・プレートに触れて、後者が前者をトリガしてしまわないように調節するという注意が必要でしょう。

ヒント：これらのセンサの感度は、プレス・コントロールの出力を一定にしておくとう調節しやすいかもしれません。そのためは、キャリブレーションの作業をする際に、EWI5000 の **BREATH** パラメータ・ノブを、ディスプレイにドットが表示されるまで上げておくとう良いでしょう。

セットアップ・モード全体のメニュー構造は、付録 > メニュー構造 > セットアップ・モードの項で確認できます。

キー・ディレイ(ノート・キー)およびプログラム・ボタン

ノート・キーとプログラム・ボタンのキャリブレーションのしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **CL (キャリブレーション)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在選択されているセンサがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、**dL (キーディレイ)** を選択します。
4. **CHORUS** パラメータ・ノブを回して、ノート・キーの感度を調節します。最低値は **00**、最高値は **99** です。ノート・キーまたはプログラム・ボタンに触れば、設定の確認ができます。ノート・キーに触れたことを **EWI5000** が検知すると **SETUP** ボタンの LED が点灯し、**プログラム・ボタン**に触れたことを検知すると **TRANS** ボタンの LED が点灯します。
5. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

ブレス・センサ

ブレス・センサのキャリブレーションのしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **CL (キャリブレーション)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在選択されているセンサがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、**bS (ブレス・センサ)** を選択します。
4. **CHORUS**、**LFO** または **REVERB** のパラメータ・ノブを回して、センサの調節ができます。マウスピースに息を吹き込んで設定を確認することもできます。マウスピースを吹いたことを **EWI5000** が検知すると **SETUP** ボタンの LED が点灯し、ブレス・センサの値が最大に達すると **TRANS** ボタンの LED が点灯します。
 - **CHORUS** パラメータ・ノブを回して、ブレス・センサの感度を調節します。感度は **00** で最低、**99** で最高になります。このノブを回す時にはマウスピースを吹かず、**SETUP** ボタンの LED が点灯する直前の値に設定するのが良いでしょう。
 - **LFO** パラメータ・ノブを回して、ブレス・センサのダイナミック・レンジを調節します。ダイナミック・レンジは **00** で最も狭く、**99** で最も広くなります。このノブを回す時には、マウスピースを“最大の”強さで吹いて、**TRANS** ボタンの LED が点灯するすぐ上の値に設定するのが良いでしょう。
 - **REVERB** パラメータ・ノブを回して、ブレス・センサの変化率を調節します。変化率は **00** で最低、**99** で最高になります。
5. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

グライド・プレート

グライド・プレートのキャリブレーションのしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **CL (キャリブレーション)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在選択されているセンサがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、**GL (グライド・プレート)** を選択します。
4. **CHORUS**、**LFO** または **REVERB** のパラメータ・ノブを回して、センサの調節ができます。グライド・プレートに触れて設定を確認することもできます。グライド・プレートに触れたことを EW15000 が検知すると **SETUP** ボタンの LED が点灯し、グライド・プレートの値が最大に達すると **TRANS** ボタンの LED が点灯します。
 - **CHORUS** パラメータ・ノブを回して、グライド・プレートの感度を調節します。感度は **00** で最低、**99** で最高になります。このノブを回す時にはグライド・プレートに触れず、**SETUP** ボタンの LED が点灯する直前の値に設定するのが良いでしょう。
 - **LFO** パラメータ・ノブを回して、グライド・プレートのダイナミック・レンジを調節します。ダイナミック・レンジは **00** で最も狭く、**99** で最も広くなります。このノブを回す時には、グライド・プレートを最大の強さで触って、**TRANS** ボタンの LED が点灯するすぐ上の値に設定するのが良いでしょう。
 - **REVERB** パラメータ・ノブを回して、グライド・プレートの変化率を調節します。変化率は **00** で最低、**99** で最高になります。

重要：それぞれのピッチバンド・プレートに触れて、ピッチバンド・プレートがグライド・プレートをトリガしないことを確認すると良いでしょう。グライド・プレートとピッチバンド・プレートは互いに一部連携しているため、感度も両者の関連を確認しながら調節すると良いかもしれません。

5. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

ピッチバンド・プレート

ピッチバンド・プレートのキャリブレーションのしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **CL (キャリブレーション)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在選択されているセンサがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、**PU (ピッチバンド・アップ・プレート)** または **Pd (ピッチバンド・ダウン・プレート)** を選択します。
4. **CHORUS**、**LFO** または **REVERB** のパラメータ・ノブを回して、センサの調節ができます。ピッチバンド・プレートに触れて設定を確認することもできます。ピッチバンド・プレートに触れたことを EW15000 が検知すると **SETUP** ボタンの LED が点灯し、ピッチバンド・プレートの値が最大に達すると **TRANS** ボタンの LED が点灯します。
 - **CHORUS** パラメータ・ノブを回して、ピッチバンド・プレートの感度を調節します。感度は **00** で最低、**99** で最高になります。このノブを回す時にはピッチバンド・プレートに触れず、**SETUP** ボタンの LED が点灯する直前の値に設定するのが良いでしょう。
 - **LFO** パラメータ・ノブを回して、ピッチバンド・プレートのダイナミック・レンジを調節します。ダイナミック・レンジは **00** で最も狭く、**99** で最も広くなります。このノブを回す時には、ピッチバンド・プレートを最大の強さで触って、**TRANS** ボタンの LED が点灯するすぐ上の値に設定するのが良いでしょう。
 - **REVERB** パラメータ・ノブを回して、ピッチバンド・プレートの変化率を調節します。変化率は **00** で最低、**99** で最高になります。

重要：調整しているのとは違うほうのピッチバンド・プレートやグライド・プレートに触れて、調整中のピッチバンド・プレートがトリガされないことを確認すると良いでしょう。グライド・プレートとピッチバンド・プレートは互いに一部連携しているため、感度も両者の関連を確認しながら調節すると良いかもしれません。

5. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

コントロールの割り当て

EWI5000 には、3 つの重要な設定があります。メッセージを送信する MIDI チャンネルと、**ホールド・ボタン**の機能、そして**インターバル・ボタン**の機能です。

また、**プログラム・ボタン**に触れながらノート・キーに触れて特定のプログラムが呼び出せるように、ノート・キーにプログラムを割り当てることもできます。これによって、素早く簡単にプログラムの切り替えができます。

以下の設定項目名をクリックすると、それぞれの解説にスキップします。

- MIDI チャンネル
- ホールド・ボタン
- インターバル・ボタン

セットアップ・モード全体のメニュー構造は、**付録 > メニュー構造 > セットアップ・モード**の項で確認できます。

MIDIチャンネル

EWI5000 は、割り当てられた MIDI チャンネルを通じて MIDI メッセージを送信します。このチャンネルは、シンセの入力チャンネルにもなります。

MIDI チャンネルの設定のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **CH (チャンネル)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在選択されている MIDI チャンネルの番号がディスプレイに表示されます。
4. **ホールド・ボタン** (値が増加します) または **インターバル・ボタン** (値が減少します) を押して、MIDI チャンネルを設定します。
5. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります)

ホールド・ボタン

ホールド・ボタンを押すと、EWI5000 はホールド・モードに入ります。これによって、ある音をホールドさせたまま、別の音を鳴らしたりメロディーを演奏したりできます。ホールドされた音は、フレーズをレガートで演奏している限り鳴り続けます。フレーズの演奏を止めるか、あるいは一旦音を切って新しいフレーズを吹き始めれば、最初にホールドされた音は止まり、新しい音がホールドされます。

ホールド・ボタンの設定のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **Ho (ホールド)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **OF (オフ)**：**ホールド・ボタン**が無効になります。
 - **LE (レガート・ホールド・モード)**：音を出す前に**ホールド・ボタン**を押すと、ホールド・モードがオンになります。**ホールド・ボタン**を押した後で最初に出した音 (あるいは、ボタンを押した時に出していた音) がホールドされ、そのまま息継ぎをせずに別の音を鳴らすことができます。新しいフレーズを吹き始める (つまり、息継ぎをしてふたたびマウスピースを吹き始める) と、新たな音がホールドされます。**ホールド・ボタン**をもう一度押すと、ホールド・モードがオフになります。

TRANS ボタンを押して、このモードをラッチさせるかどうかを選択できます (ラッチさせた場合には、ディスプレイにドットが表示されます)。ラッチさせた場合には、上記の方法でホールド・モードのオン / オフができます。ラッチさせない場合には、**ホールド・ボタン**を押し続けている間だけホールド・モードがオンになり、ボタンを離せばホールド・モードがオフになります。

- **nL (ノン・レガート・ホールド・モード)**：ある音を鳴らしている間に**ホールド・ボタン**を押すと、ホールド・モードがオンになります。その後は、他の音を鳴らしても、**ホールド・ボタン**を押した時に鳴っていた音がそのままホールドされます。**ホールド・ボタン**をもう一度押すと、ホールド・モードがオフになります。

TRANS ボタンを押して、このモードをラッチさせるかどうかを選択できます（ラッチさせた場合には、ディスプレイにドットが表示されます）。ラッチさせた場合には、上記の方法でホールド・モードのオン / オフができます。ラッチさせない場合には、**ホールド・ボタン**を押し続けている間だけホールド・モードがオンになり、**ボタン**を離せばホールド・モードがオフになります。

- **UP (アップ)**：**ホールド・ボタン**を押すと、1つ上のプログラムが選択できるようになります。詳しくは、**プログラムの管理 > プログラムの選択**の項を参照してください。
 - **CC (コンティニューアス・コントロール)**：**ホールド・ボタン**を押すと、MIDI コンティニューアス・コントロール (CC) のメッセージを送信します。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押すと、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **Cn (コントローラ・ナンバ)**：**ホールド・ボタン**を押した時に送信される CC メッセージを設定します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します（00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます）。コントロールしたいパラメータに合った値を選んでください。
 - **dU (データ・アップ)**：**ホールド・ボタン**を離した時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します（00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます）。
 - **dP (データ・プレス)**：**ホールド・ボタン**を押した時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します（00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます）。
 - **LA (ラッチング)**：**ホールド・ボタン**がラッチングかモーメンタリかどちらのコントロールとして動作するかを選択します。このパラメータを選択した場合は、**TRANS** ボタンを押しながら、さらに以下のメッセージ・パラメータが選択できます。
 - **OF (オフ)**：**ホールド・ボタン**を押し続けると、データ・プレス値が送信されます。**ホールド・ボタン**を離すと、データ・アップ値が送信されます。
 - **on (オン)**：**ホールド・ボタン**を押した時に、データ・プレス値が送信されます。**ホールド・ボタン**を再び押すと、データ・アップ値が送信されます。
4. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。（階層によっては数回押す必要があります。）

インターバル・ボタン

インターバル・ボタンを押すと、EWI5000 はインターバル・モードに入ります。これによって、運指で決まった音にもうひとつの——特定の音程差の——音が加わり、ハーモナイズされたサウンドになります。

重要：インターバル・モードでは、グライド・プレートによるポルタメント・メッセージの発信はオフになります。

インターバル・ボタンの設定のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **In (インターバル)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **OF (オフ)**：**インターバル・ボタン**が無効になります。
 - **Fd (フィクスト・インターバル・モード)**：**インターバル・ボタン**を押すと、ここで設定した音程の音を加えてハーモナイズできます。**インターバル・ボタン**をもう一度押すと、インターバル・モードがオフになります。
このモードを選択したら、**TRANS** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**で音程を半音単位 (-24 ~ +24) で設定します。

- **rt (リアル・タイム・モード)**：音を鳴らしている時に**インターバル・ボタン**を押すと、インターバル・モードに入ります。その後次に音を鳴らすと、最初の音と次の音の音程が、インターバル・モードの音程として設定され、設定はインターバル・モードをオフにするまで有効になります。インターバル・モードは、**インターバル・ボタン**をもう一度押すとオフになります。
 - **dn (ダウン)**：**インターバル・ボタン**を押すと、1つ下のプログラムが選択できるようになります。詳しくは、**プログラムの管理 > プログラムの選択**の項を参照してください。
 - **CC (コンティニューアス・コントロール)**：**インターバル・ボタン**を押すと、MIDI コンティニューアス・コントロール (CC) のメッセージを送信します。これを選択した場合、**TRANS** ボタンを押すと、さらに以下のパラメータが設定できます：
 - **Cn (コントローラ・ナンバ)**：**インターバル・ボタン**を押した時に送信される CC メッセージを設定します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。コントロールしたいパラメータに合った値を選んでください。
 - **dU (データ・アップ)**：**インターバル・ボタン**を離れた時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **dP (データ・プレス)**：**インターバル・ボタン**を押した時に送信される CC メッセージの値を選択します。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して値を設定します (00 ~ 127 の範囲。99 よりも大きな値は、下 2 桁の数字がドットと共に表示されます)。
 - **LA (ラッチング)**：**インターバル・ボタン**がラッチングかモーメンタリかどちらのコントロールとして動作するかを選択します。このパラメータを選択した場合は、**TRANS** ボタンを押しながら、さらに以下のメッセージ・パラメータが選択できます。
 - **OF (オフ)**：**インターバル・ボタン**を押し続けると、データ・プレス値が送信されます。**インターバル・ボタン**を離すと、データ・アップ値が送信されます。
 - **on (オン)**：**インターバル・ボタン**を押した時に、データ・プレス値が送信されます。**インターバル・ボタン**を再び押すと、データ・アップ値が送信されます。
4. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

プログラムの管理

プログラムとは、EWI5000 の内蔵メモリに保存された、設定やプリセットのことです。プログラムを切り替えることで、演奏するサウンドやセンサの設定を瞬時に切り替えることができます。

プログラムには、**プリセット**と**ユーザ**の 2 つのバンクがあり、それぞれのバンクには 100 個 (00 ~ 99) のプログラムが保存できます。工場出荷時には、これら 2 つのバンクには同じデータが保存されています。プリセット・バンクのプログラムは上書きできませんが、ユーザ・バンクには自分で作成したプログラムを上書きすることができます。

現在選択中のプログラムは、**プログラム・ボタン (ピッチベンド・アップ・プレート**のすぐ上のネジ) に触れるだけで確認できます。

プリセット・バンクとユーザ・バンクの切り替えは、**BANK** ボタンを押して行います。選択されたバンクの LED が点灯します。

プログラムの選択や保存については、**本章**を参照してください。

プログラムの選択

プログラムは以下の 3 種類のいずれかの方法で選択できます：

- プログラム・ボタンを使う
- ホールド・ボタンまたはインターバル・ボタンを使う
- ノート・キーを使う

EWI5000 を使って、外部 MIDI 音源やソフトウェアのプログラムも選択することができます。

プログラム・ボタンを使う

1. 目的のバンク（プリセットまたはユーザ）が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、**BANK** ボタンを押して選択します。
2. ノート・キーには触れずに、**プログラム・ボタン**（ピッチベンド・アップ・プレートのすぐ上のネジ）に触れます。現在選択されているプログラムがディスプレイに表示されます。
3. **プログラム・ボタン**に触れたまま、**ホールド・ボタン**を押して次のプログラムに移動するか、あるいは**インターバル・ボタン**を押して前のプログラムに移動します。
4. 目的のプログラムがディスプレイに表示されたら、**プログラム・ボタン**を離します。これでプログラムが選択されました。

注意：プログラム・ボタンに触れている間は、マウスピースを吹いても音は出ません。

ホールド・ボタンまたはインターバル・ボタンを使う

注意：プログラムは、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**のいずれか、または両方を使って選択できます。つまり、これらのボタンは単体でも機能します。

1. 目的のバンク（プリセットまたはユーザ）が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、**BANK** ボタンを押して選択します。
2. **ホールド・ボタン**を UP（コントロールの割り当て > **ホールド・ボタンの項**参照）、**インターバル・ボタン**を dn（コントロールの割り当て > **インターバル・ボタンの項**参照）にそれぞれ設定してあるかどうか確認します。
3. **ホールド・ボタン**を押して 1 つ上のプログラム、あるいは**インターバル・ボタン**を押して 1 つ下のプログラムに移動します。それぞれのボタンを押し続けると、利用可能なプログラムが急速に切り替わります。

ノート・キーを使う

プログラム・ナンバは、特定のノート・キーに割り当てることができます。これによって、**ホールド・ボタン**や**インターバル・ボタン**を押すよりも素早くプログラムの選択ができます。ただし、事前にプログラムをノート・キーに割り当てておく必要があります。

プログラムをノート・キーに割り当てる方法：

1. **PC**（プログラム・チェンジ）の設定が **dP**（ダイレクト・プログラム）になっていることを確認します。設定の方法は、**外部 MIDI モジュールまたはソフトウェア上での管理法**の項を参照してください。
2. 割り当てたいプログラム・ナンバを（この**プログラムの選択**の項で挙げられた方法のいずれかで）選択します。
3. **プログラム・ボタン**に触れて、**SETUP** ボタンを押します。ディスプレイに表示されたプログラム・ナンバが点滅します。
4. 好きなノート・キーに触れて、マウスピースを吹きます。これで、今触れたノート・キーにそのプログラムが割り当てられました（この操作の過程で複数のノート・キーに触れた場合には、触れた中でいちばん高い位置のキーにプログラムが割り当てられます）。

注意：プログラム・ボタンに触れている間は、マウスピースを吹いても音は出ません。

ノート・キーでプログラムを選択する方法：

1. **PC (プログラム・チェンジ)** の設定が **dP (ダイレクト・プログラム)** になっていることを確認します。設定の方法は、外部 **MIDI モジュール**または**ソフトウェア上での管理法**の項を参照してください。
2. 目的のバンク (プリセットまたはユーザ) が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、**BANK** ボタンで切り替えます。
3. ノート・キーには触れずに、**プログラム・ボタン (ピッチベンド・アップ・プレートのすぐ上のネジ)** に触れます。現在選択されているプログラムがディスプレイに表示されます。
4. **プログラム・ボタン**に触れたまま、目的のプログラムを割り当てたノート・キーに触れます。(この操作の過程で複数のノート・キーに触れた場合には、触れた中でいちばん高い位置のキーに割り当てられたプログラムが選択されます。)
5. 割り当てられたプログラム・ナンバがディスプレイに表示されたら、マウスピースを吹きます。これでプログラムが選択されました。
6. **プログラム・ボタン**を離します。

注意：プログラム・ボタンに触れている間は、マウスピースを吹いても音は出ません。

外部 MIDI モジュールまたはソフトウェア上での管理

EWI5000 を使って、接続した外部 MIDI 音源やコンピュータのソフトウェアに、MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを送信することができます。そのためには、上記の手順に従ってください。EWI5000 で新しいプログラムを選択すると、MIDI プログラム・チェンジ・メッセージとして、同じプログラム・ナンバが外部音源に送信されます。

この動作が確実に行われるためには、EWI5000 を以下のように設定する必要があります。

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **PC (プログラム・チェンジ)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **dP (ダイレクト・プログラム)**：このパラメータをオンにすると、**プログラム・ボタン**に触れてからノート・キーに触れると、そのノート・キーに割り当てられたプログラムがプログラム・チェンジ・メッセージとして送信されます (プログラムをノート・キーに割り当てる方法については、**ノート・キーを使う**の項を参照してください)。オン / オフは、**TRANS** ボタンを押して切り替えます。オンにすると、ディスプレイにドットが表示されます。
 - **Ot (アウト)**：このパラメータをオンにすると、EWI5000が**USB ポート**や**MIDI 出力**からプログラム・チェンジ・メッセージを送信できるようになります。オフの状態では、EWI5000 はプログラム・チェンジ・メッセージを外部に送信しません。オン / オフは、**TRANS** ボタンを押して切り替えます。オンにすると、ディスプレイにドットが表示されます。
4. パフォーマンス・モードに戻るには、ディスプレイの表示が消えるまで **SETUP** ボタンを押します。(階層によっては数回押す必要があります。)

プログラムの保存

プログラムの保存のしかた：

1. 現在のプログラムで、保存したい設定を全て行ったかどうかを確認します。
2. **SAVE** ボタンを押すと、保存先となるユーザ・プログラム・ナンバがディスプレイ上で点滅します。
3. **ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使って、保存先のユーザ・プログラム・ナンバを選択します。
4. **SAVE** ボタンをもう一度押して、プログラムを保存します。あるいは、どれか他のボタンを押して、操作を取り消します。

エフェクト(FX)の使い方

EWI5000 の FX メニューを使って、オーディオ出力の信号にかけるリバーブとコーラス、ディレイの 3 種類のエフェクトを、選択したりエディットしたりできます。

重要：エフェクトをエディットするには、EWI5000 のオーディオ出力をオンにしておく必要があります。EWI5000 を MIDI コントローラとしてのみ使用している (**PRESET** または **USER** の LED が点滅している) 場合には、**POWER** ボタンを長押しして、**PRESET** または **USER** の LED が点灯した状態にしてください。

FX メニューに入るには、**FX** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使って **rb** (リバーブ)、**ch** (コーラス) あるいは **dL** (ディレイ) を選択します。FX ボタンを離すと、以下に説明する方法でそれぞれのエフェクトのパラメータが調節できます。

FX メニューから出るには、FX ボタンを 1 回押します。

リバーブやコーラス、ディレイ・エフェクトのパラメータの設定についての詳細は、**本章**を参照してください。

リバーブ

リバーブはある特定の部屋における残響をシミュレートした、空間系のエフェクトです。

リバーブ・エフェクトのエディットのしかた：

1. **FX** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使って **rb** (リバーブ) を選択します。
2. **FX** ボタンを離すと、ディスプレイにエフェクト・レベルが表示されます。
3. **ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使ってエフェクト・レベル (**00 ~ 99**) を設定します。
ヒント：エフェクト・レベルは、EWI5000 の **REVERB** パラメータ・ノブでもエディットできます。
 他のパラメータをエディットする場合は、**TRANS** ボタンまたは **LEVEL** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使ってパラメータを選択し、**TRANS** ボタンまたは **LEVEL** ボタンを離します：
 - **ut** (ウェット / ドライ)：ウェット (エフェクト音) とドライ (原音) の混ぜ具合を調節します。**00** でドライのみ、**99** でウェットのみ、**50** で両方がほぼ同量でミックスされます。
 - **dP** (ダンピング)：特定の部屋でリバーブ音が減衰するにつれて、高域成分が吸収される度合いを調節します。**00** では高域成分は吸収されず、減衰時間も最長になります。**99** では高域成分がもつとも多く吸収され、より温かみのあるサウンドになります。
 - **ud** (ウイズ)：リバーブによるステレオ音場の広がり感を調節します。**00** では広がり感が最小、**99** では最大になります。
 - **rS** (ルーム・サイズ)：リバーブがシミュレートする部屋の大きさを設定します。**00** では小さな部屋、**99** では大きな部屋のシミュレーションになります。
4. **FX** ボタンを押して、FX メニューから出ます。

コーラス

コーラスは、ピッチを揺らしてディレイをかけた入力信号を、ふたたび原音に混ぜるエフェクトです。薄くかけると、複数の音が同時に鳴っているかのような音になります。

コーラス・エフェクトのエディットのしかた：

1. **FX** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使って **ch (コーラス)** を選択します。
2. **FX** ボタンを離すと、ディスプレイにエフェクト・レベルが表示されます。
3. **ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使ってエフェクト・レベル (**00 ~ 99**) を設定します。
ヒント：エフェクト・レベルは、EWI5000 の **CHORUS** パラメータ・ノブでもエディットできます。他のパラメータをエディットする場合は、**TRANS** ボタンまたは **LEVEL** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使ってパラメータを選択し、**TRANS** ボタンまたは **LEVEL** ボタンを離します：
 - **rt (レート)**：コーラス・エフェクトの揺れの周期を設定します。**00** では **1.0Hz**、**99** では **3.0Hz** になります。
 - **dP (デプス)**：コーラス・エフェクトの深さあるいは強さを設定します。**00** ではかかり具合が浅くなり、**99** では音揺れがかなり大きくなります。
参考：「きらめくよう」で「水の中にあるよう」なサウンドを作る時には、デプスを高めの値に設定します。
4. **FX** ボタンを押して、FX メニューから出ます。

ディレイ

ディレイ・エフェクトは、原音から特定の時間だけ遅らせた信号を、エコーのように返すものです。

ディレイ・エフェクトのエディットのしかた：

1. **FX** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使って **dL (ディレイ)** を選択します。
2. **FX** ボタンを離すと、ディスプレイにエフェクト・レベルが表示されます。
3. **ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使ってエフェクト・レベル (**00 ~ 99**) を設定します。
ヒント：エフェクト・レベルは、EWI5000 の **TRANS** ボタンを押しながら **BITE** パラメータ・ノブを回してエディットすることもできます。他のパラメータをエディットする場合は、**TRANS** ボタンまたは **LEVEL** ボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**と**インターバル・ボタン**を使ってパラメータを選択し、**TRANS** ボタンまたは **LEVEL** ボタンを離します：
 - **dt (タイム)**：ディレイ・エフェクトの音遅れの時間を設定します。**00** では **0.1ms**、**99** では **742.9ms** になります。値が 1 増えるごとに、ディレイ・タイムが **7.5ms** ずつ長くなります。
 - **Fb (フィードバック)**：エフェクト音がエフェクトの入力にふたたび戻される量を調節します。**00** では戻される量はゼロで、**99** ではかなりの量が入力に戻されます。あまり高い値にしすぎないように注意してください！
4. **FX** ボタンを押して、FX メニューから出ます。

運指モード

EWI5000 では、様々な演奏スタイルに応じて様々な運指モードが選択できます。

運指モードの選択のしかた：

1. **SETUP** ボタンを押して、セットアップ・モードに入ります。
2. **SETUP** ボタンを押したまま、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、ディスプレイに **Fn (フィンガリング：運指)** と表示させます。
3. **SETUP** ボタンを離すと、現在のモードがディスプレイに表示されます。**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、以下の中から必要なパラメータを選択します：
 - **EI (EWI 標準)**：従来の木管楽器に準拠した、EWI5000 の標準的な運指です。
 - **SA (サクソフォン)**：標準的なサクソフォンに似た運指です。このモードでは、このモードでは、発音している高音より下に置かれた指は無視されます。
 - **FL (フルート)**：標準的な C 管のフルートに似た運指です。ただし、フルート奏者の方は、EWI5000 を正しく演奏するために、いくつかの新しい運指に慣れていただく必要があります。
 - **Ob (オーボエ)**：標準的なオーボエに似た運指です。ただし、オーボエ奏者の方は、EWI5000 を正しく演奏するために、いくつかの新しい運指に慣れていただく必要があります。
 - **Eu (EVI* 標準)**：EVI とはエレクトリック・バルブ・インストゥルメントの意味です。この運指は、金管楽器に近い運指を使いたい方に向いているかもしれません。
 - **Er (オクターブ・ローラが逆配列の EVI)**：左手首の動きが、実物の EVI を使用した時に最も近くなる設定です（主に、熟練した EVI 奏者の方にお勧めします）。
4. **SETUP** ボタンを押して、パフォーマンス・モードに戻ります。

様々な運指モードの違いは、付録 > 運指一覧の項で確認してください。

セットアップ・モード全体のメニュー構造は、付録 > メニュー構造 > セットアップ・モードの項で確認できます。

*EVI の運指の開発にあたっては、パッチマン・ミュージック (patchmanmusic.com) のマット・トラウム氏のご協力に感謝します。

初期設定の回復

EWI5000 の設定を工場出荷時の状態に戻す方法：

1. EWI5000 をコンピュータから外します。
2. **POWER** ボタンを 1 秒間押し続けた後で離し、EWI5000 の電源を切ります。
3. **SETUP** と **TRANS**、**FX**、**LEVEL** のボタンを押します。
4. そのまま **POWER** ボタンを 1 秒間押し続けて、EWI5000 の電源を入れます。
5. 全てのボタンを離します。

ファームウェアのアップデート

EWI5000 のファームウェアは、簡単にアップデートできます。以下の手順に従ってファームウェアをアップデートして、新たに改善された特徴や機能を利用してください。

ヒント：ウェブサイト <http://ewi.akai-pro.jp/ewi5000/> に時々アクセスして、EWI5000 のファームウェアや EWI5000 サウンド・エディタ、資料などのアップデートを確認することをお勧めします。

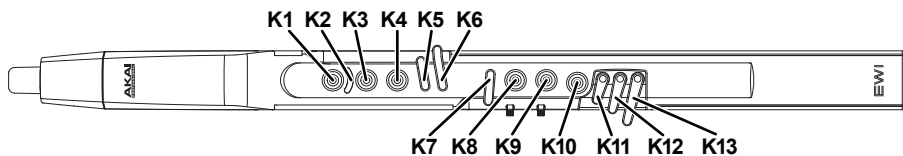
ファームウェアのアップデート方法：

1. ウェブサイト <http://ewi.akai-pro.jp/ewi5000/> にアクセスして：
 - 最新のファームウェア・ファイルをダウンロードして解凍します。
 - 最新の EWI5000 サウンド・エディタをダウンロードしてインストールします。
2. EWI5000 の **USB** ポートをコンピュータに接続します。
3. EWI5000 サウンド・エディタを立ち上げます。
4. エディタ内の **Settings** ボタンをクリックします。
5. **Firmware Version** ナンバの隣にある **Update** ボタンをクリックします。
6. 表示されたウィンドウで **.syx** ファイルの保存場所を指定して、**Open** ボタンをクリックします。これでアップデートが始まります。
アップデートが無事に完了すると、EWI5000 のディスプレイに **Gd** という表示が出ます。
アップデートに失敗すると、EWI5000 のディスプレイに **nG** という表示が出ます。この場合は、EWI5000 をコンピュータからいったん外し、手順 2 から作業をやり直してください。
7. EWI5000 をコンピュータからいったん外して電源を切り、電源が切れたことを確認します。その後ふたたび電源を入れれば、最新のファームウェアで EWI5000 が使用できます！

上記以外の問題が生じた場合には、ウェブサイト <http://ewi.akai-pro.jp/support/> から当社にご連絡ください。

付録

運指一覧



上図は、以下に示す様々な運指モード一覧表の横軸に、本体のどのキーが対応しているかを示しています。

EWI 式	オーボエ式
サクソフォン式	EVI 式
フルート式	逆 EVI 式

K1～K6 のキーは左手、K7～K13 のキーは右手でそれぞれ押えます。

EWI式

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)						
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13
A#	●)	●	●	⏏	▬	⏏	●	●	●	⏏	▬	▬
B	●)	●	●	⏏	▬	⏏	●	●	●	⏏	⏏	▬
B (alt.)	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	⏏	▬	▬
C	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	⏏	⏏	▬
C (alt.)	●)	●	●	⏏	▬	⏏	●	●	●	⏏	▬	⏏
C#	●)	●	●	▬	⏏	⏏	●	●	●	⏏	⏏	▬
C# (alt.)	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	⏏	▬	⏏
D	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	⏏	⏏	⏏
D#	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	▬	⏏	⏏
E	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	○	⏏	⏏	⏏
F	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	○	○	⏏	⏏	⏏
F#	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	○	●	○	⏏	⏏	⏏
G	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
G#	●)	●	●	▬	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
A	●)	●	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
A#	●)	●	○	⏏	⏏	▬	○	○	○	⏏	⏏	⏏
A# (alt.)	●)	○	○	⏏	⏏	⏏	●	○	○	⏏	⏏	⏏
A# (alt.)	●)	○	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
B	●)	○	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
C	○)	●	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
C#	○)	○	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
D	○)	○	○	⏏	⏏	▬	○	○	○	⏏	⏏	⏏

サクソフォン式

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)						
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13
A#	●)	●	●	⏏	▬	⏏	●	●	●	⏏	▬	▬
B	●)	●	●	⏏	▬	⏏	●	●	●	⏏	⏏	▬
C	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	⏏	⏏	▬
C#	●)	●	●	▬	⏏	⏏	●	●	●	⏏	⏏	▬
D	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	⏏	⏏	⏏
D#	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	●	▬	⏏	⏏
E	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	●	○	⏏	⏏	⏏
F	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	●	○	○	⏏	⏏	⏏
F#	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	○	●	○	⏏	⏏	⏏
G	●)	●	●	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
G#	●)	●	●	▬	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
A	●)	●	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
A#	●)	●	○	⏏	⏏	▬	○	○	○	⏏	⏏	⏏
A# (alt.)	●)	○	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
B	●)	○	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
C	○)	●	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
C#	○)	○	○	⏏	⏏	⏏	○	○	○	⏏	⏏	⏏
D	○)	○	○	⏏	⏏	▬	○	○	○	⏏	⏏	⏏

フルート式

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)						
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13
C	●)	●	●				●	●	●			
C#	●)	●	●				●	●	●			
D	●)	●	●				●	●	●			
D#	●)	●	●				●	●	●			
E	●)	●	●				●	●	○			
F	●)	●	●				●	○	○			
F#	●)	●	●				○	○	●			
F# (alt.)	●)	●	●				○	●	○			
G	●)	●	●				○	○	○			
G#	●)	●	●				○	○	○			
A	●)	●	○				○	○	○			
A (alt.)	●)	○	○				●	○	○			
A# *	●)	○	○				●	○	○			
A# (alt.)	●)	○	○					○	○			
B	●)	○	○				○	○	○			
C **	○)	●	○				○	○	○			
C#	○)	○	○				○	○	○			

* K8、K9 または K10 のどのキーをどの組み合わせで押さえても、この A# 音が鳴ります。

** フルート奏者の方が新たに覚える必要のある、フルート式とは異なる唯一の運指です。

オープン式

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)						
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13
A#	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
B	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
C	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
C#	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
D	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
D#	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
D# (alt.)	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
E	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	○	∩	∩	∩
F	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	○	∩	∩	∩
F (alt.)	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	○	●	∩	∩	∩
F (alt.)	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	○	∩	∩	∩
F#	●	∩	●	●	∩	∩	∩	○	●	○	∩	∩	∩
G	●	∩	●	●	∩	∩	∩	○	○	○	∩	∩	∩
G#	●	∩	●	●	∩	∩	∩	○	○	○	∩	∩	∩
G# (alt.)	●	∩	●	●	∩	∩	∩	○	○	○	∩	∩	∩
A	●	∩	●	○	∩	∩	∩	○	○	○	∩	∩	∩
A#	●	∩	●	○	∩	∩	∩	●	○	○	∩	∩	∩
B	●	∩	○	○	∩	∩	∩	○	○	○	∩	∩	∩
C	●	∩	○	○	∩	∩	∩	●	○	○	∩	∩	∩
C#	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
C# (alt.)	●	∩	○	○	∩	∩	∩	●	○	○	∩	∩	∩
D	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
D#	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩
D (alt.)	●	∩	●	●	∩	∩	∩	●	●	●	∩	∩	∩

EVI式

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)						
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13
C#	●)	●	●	∪	∪	∪	●	●	●	∪	∪	∪
D	●)	●	●	∪	∪	∪	●	○	●	∪	∪	∪
D#	●)	●	●	∪	∪	∪	○	●	●	∪	∪	∪
E	●)	●	●	∪	∪	∪	●	●	○	∪	∪	∪
F	●)	●	●	∪	∪	∪	●	○	○	∪	∪	∪
F#	●)	●	●	∪	∪	∪	○	●	○	∪	∪	∪
G	●)	●	●	∪	∪	∪	○	○	○	∪	∪	∪
G#	○)	●	●	∪	∪	∪	○	●	●	∪	∪	∪
A	○)	●	●	∪	∪	∪	●	●	○	∪	∪	∪
A#	○)	●	●	∪	∪	∪	●	○	○	∪	∪	∪
B	○)	●	●	∪	∪	∪	○	●	○	∪	∪	∪
C	○)	●	●	∪	∪	∪	○	○	○	∪	∪	∪

逆EVI式

逆EVI式の運指はEVI式と同じで、オクターブ・ローラの配列が逆になります。

メニュー構造

この章では、EWI5000 で設定可能なメニューおよびサブメニューの構造が一覧できます。メニューや設定、パラメーター値は、EWI5000 のディスプレイに表示されます。様々なコントロール類の操作にあたっては、この一覧がお役に立つでしょう。

セットアップ・モード

Menus	Values
CH (MIDI Channel)	01-16
dL (Note Delay)	00-20
Fn (Fingering Mode)	
EI (EWI)	
SA (Saxophone)	
FL (Flute)	
Ob (Oboe)	
Ev (EVI)	
Er (EVI Reversed)	
Ho (Hold Button)	
OF (Off)	
LE (Legato Hold)	Latching, non-latching
nL (non-Legato Hold)	Latching, non-latching
Up (Program-Up)	
CC (MIDI CC)	
Cn (Contoller Number)	00-127
dU (Data-Up)	00-127
dP (Data-Press)	00-127
LA (Latching)	On, OF (Off)
In (Interval Button)	
OF (Off)	
Fd (Fixed Interval)	
rt (Real-Time)	
dn (Program-Down)	
CC (Continuous Controller)	
Cn (Contoller Number)	00-127
dU (Data-Up)	00-127
dP (Data-Press)	00-127
LA (Latching)	On, OF (Off)

Menus		Values
bS (Breath Sensor)		
vo (Volume)		
	OF (Off)	
	Lr (Low-Resolution)	
	Hr (High-Resolution)	
EP (Expression)		
	OF (Off)	
	Lr (Low-Resolution)	
	Hr (High-Resolution)	
PP (Aftertouch)		On, Off
CP (Channel Pressure)		On, Off
br (Breath)		
	OF (Off)	
	Lr (Low-Resolution)	
	Hr (High-Resolution)	
CC (Continuous Controller)		
	En (Enable)	On, OF (Off)
	Cn (Controller Number)	00-127
	nb (No Breath)	00-127
	br (Breath)	00-127
LV (Lock Velocity)		On (01-127), Off
Ct (Capture Delay)		01-10
CS (Constant Output)		On, Off
bt (Bite Sensor)		
FL (Filter)		On, Off
Pb (Pitch-Bend)		On (-63 to +63), Off
bS (Breath Sensor)		On (-99 to +99), Off
CC (Continuous Controller)		
	En (Enable)	On, OF (Off)
	Cn (Controller Number)	00-127
	nb (Not Biting)	00-127
	bt (Biting)	00-127

Menus		Values
GL (Glide Plate)		
Pt (Portamento Time)		
	En (Enable)	On, OF (Off)
	dU (Data-Up)	00-127
	dP (Data-Press)	00-127
PS (Portamento Switch)		
		On, Off
Lt (Legato Time)		
	En (Enable)	On, OF (Off)
	dU (Data-Up)	00-127
	dP (Data-Press)	00-127
CC (Continuous Controller)		
	En (Enable)	On, OF (Off)
	Cn (Controller Number)	00-127
	dU (Data-Up)	00-127
	dP (Data-Press)	00-127
PU (Pitch-Bend Up)		
Pb (Pitch-Bend)		On (-63 to +63), Off
CC (Continuous Controller)		
	En (Enable)	On, OF (Off)
	Cn (Controller Number)	00-127
	dU (Data-Up)	00-127
	dP (Data-Press)	00-127
Pd (Pitch-Bend Down)		
Pb (Pitch-Bend)		On (-63 to +63), Off
CC (Continuous Controller)		
	En (Enable)	On, OF (Off)
	Cn (Controller Number)	00-127
	dU (Data-Up)	00-127
	dP (Data-Press)	00-127
PC (Program Change)		
dP (Direct Program)		On, Off
Ot (Out)		On, Off

Menus		Values
CL (Calibration)		
dL (Key Delay)	Sensitivity (Chorus Knob)	00-99
bS (Breath Sensor)	Sensitivity (Chorus Knob)	00-99
	Dynamic Range (LFO Knob)	00-99
	Rate of Change (Reverb Knob)	00-99
GL (Glide Plate)	Sensitivity (Chorus Knob)	00-99
	Dynamic Range (LFO Knob)	00-99
	Rate of Change (Reverb Knob)	00-99
PU (Pitch-Bend Up Plate)	Sensitivity (Chorus Knob)	00-99
	Dynamic Range (LFO Knob)	00-99
	Rate of Change (Reverb Knob)	00-99
Pd (Pitch-Bend Down Plate)	Sensitivity (Chorus Knob)	00-99
	Dynamic Range (LFO Knob)	00-99
	Rate of Change (Reverb Knob)	00-99

FX(エフェクト)

Menus		Values
rb (Reverb)		
	ut (Wet/Dry)	00-99
	dP (Damping)	00-99
	ud (Width)	00-99
	rS (Room Size)	00-99
Ch (Chorus)		
	rt (Rate)	00-99
	dP (Depth)	00-99
dL (Delay)		
	dt (Time)	00-99
	Fb (Feedback)	00-99

仕様

USB 経由 MIDI 出力チャンネル数 :	1
ノート・キー数 :	13
オクターブ・ローラ数 :	8 個、7 オクターブ分
プレート数 :	ピッチベンド : 2 グライド : 1 グラウンド : 3
入出力 :	USB ポート : 1 DIN5 ピン MIDI 出力ポート : 1 1/4 インチ (6.35mm) TRS ライン出力 : 1 1/8 インチ (3.5mm) TRS ヘッドフォン出力 : 1
電源 :	リチウムイオン充電電池 (同梱、USB 経由で充電)
サイズ :	EWI5000 本体 : (W x D x H) 6.1cm x 67.6cm x 4.3cm ワイヤレス受信機 : 6.1cm x 12.2cm x 9.1cm
重量 :	EWI5000 本体 : 0.90kg ワイヤレス受信機 : 0.13kg

商標およびライセンス

Akai Professional および EWI は、合衆国およびその他の国で登録された inMusic Brands, Inc. の商標です。

Phillips は、合衆国およびその他の国で登録された Phillips Screw Company の商標です。

SONiVOX は、合衆国およびその他の国で登録された SONiVOX の商標です。

その他全ての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者によって登録された商標です。

Number	Name
00	Alto Sax 1
01	Alto Sax 2
02	Tenor Sax 1
03	Tenor Sax 2
04	Baritone Sax 1
05	Baritone Sax 2
06	Soprano Sax 1
07	Soprano Sax 2
08	Jazz Clarinet
09	Jazz Flute
10	Harmonica
11	Panpipes
12	Piccolo Trumpet
13	Harmon Trumpet
14	Trumpet
15	Cup Mute Trumpet
16	Ballad Trombone
17	Trombone
18	Cup Trombone
19	Pop Brass Section
20	Classical C Flute
21	Classical Oboe
22	Classical English Horn
23	Classical Clarinet
24	Classical Bass Clarinet
25	Classical French Horn
26	Classical French Horn Bells
27	Classical Bassoon
28	Trumpet Ensemble
29	Trombone Ensemble
30	Hard Alto Sax
31	Soft Alto Sax
32	Hard Tenor Sax
33	Soft Tenor Sax
34	Hard Baritone Sax
35	Soft Baritone Sax
36	Hard Soprano Sax
37	Soft Soprano Sax
38	Sax Section 1
39	Sax Section 2
40	Muted Brass Section
41	Woodwinds Section 1
42	Woodwinds Section 2
43	Woodwinds Section 3
44	Trumpet n Mute
45	Wide Trumpets
46	Classy Brass Section
47	Classic Square
48	Classic Triangle
49	Reece

Number	Name
50	B3 Organ Thin
51	B3 Pinball Wizard
52	B3 Hard Attack
53	B3 B3 Classic
54	Rock Organ
55	Drawbar Organ
56	Raunchy Lead 3
57	Raunchy Lead 1
58	Angry Organ
59	Raunchy Lead 2
60	Triangle to Pulse
61	Happy Organ Wide
62	Square MW Growl
63	Saw MW Growl
64	Bubbler
65	Partial To You
66	Thick Octaves
67	Mono Edge
68	Aggro Pluck
69	Accordingly
70	Big Brasser
71	Fat and Foamy
72	Forment Bass
73	Mod Sinker
74	Ye Ol Brass
75	Dual Quack
76	Square Stack
77	Ducky
78	Try Me
79	Spectral Move
80	Vocal Oh Bass
81	Electro Rezo
82	Nsync
83	Classic Rez Saw
84	Classic Sine
85	Blade Runner
86	Ana Synth
87	Big Woop
88	FM Synth
89	Vowel Synth 1
90	LFO Squares
91	Thin Pulse
92	Stereo Filters
93	Fifths Saws
94	Twisted Flute
95	Wide Fuzz
96	Vowel Synth 2
97	Feed Me
98	Mono Brazz
99	Brassy Synth

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japanは、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づきinMusic Japanが負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japanでのみ行われるものとします。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマー・サポート へご相談ください。

保証書	
製品名:	
製造番号:	
ご購入日:	
保証期間: ご購入日から一年間	
お客様	販売店名
お名前:	ご住所:
ご住所:	
お電話:	お電話:

inMusic Japan株式会社 カスタマー・サポート

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F

お問い合わせ: <http://ewi.akai-pro.jp/support/>

- ・ 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- ・ 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ・ 本書は日本国内においてのみ有効です。